

(3) 軽度障害児指導法セミナー

小・中学校通常学級の教員に対し、軽度障害児への理解や援助の方法について研修を行い、指導力の向上を図るとともに、盲・聾・養護学校の教育について理解、啓発に努めた。

地区	会場	期 日	受講者数
県北	盲 学 校	9月8日(火)	34
県中	8月未集中豪雨のため中止		
県南	8月未集中豪雨のため中止		
会津	猪苗代養護学校	9月2日(水)	35
相双	相馬市立養護学校	9月4日(金)	29
いわき	平 護 学 校	9月8日(火)	35

3 教育 課 程

(1) 特殊教育教育課程運営改善講座

教育課程編成についての講義や研究協議を実施し、教育課程の適切な運営が図られるようにした。

部会名	期 日	会 場	人数	参加対象
共通部会 障害種別 部 会	10月12日(月)	福島県 養護教育 センター	44人	教頭及び教務 主任 (各校2名)

(2) 特殊学級等教育課程研究集会

小学校及び中学校の特殊学級における教育課程に関する研究成果を発表し、併せて研究協議を行い、もって教員等の指導力の向上及び学習指導等の改善が図られるように実施した。

部会名	期 日	会 場	人数	参加対象
小学校部会 中学校部会	8月20日～ 21日	福島県 養護教育 センター	44人	小学校及び中 学校の特殊学 級担当教員

4 交 流 教 育

(1) 共生社会への道支援事業「ふれあいウイング」

① 趣 旨

- ア 県内各地の盲・聾・養護学校高等部生徒、高等学校生徒等を含む団員を合同でアメリカへ派遣し、ノーマライゼーションの理念を現実に見聞し、体験し、「ともに生きる社会づくり」の着実な実現に寄与する。
- イ 派遣に伴う自身の変容及び自立活動の実践を通して地域社会への啓蒙・啓発を図る。
- ウ 障害者自身の自立の実態と自立を可能にする支援体制、社会制度、教育制度、まちづくり等を現地での交流、体験等を通じ習得させ、地域及び県域レベルの障害者福祉に関するリーダーたる人材の育成、モデルたる自立生活の実践者の育成を図る。

② 実施状況

ア 派遣者

No.	氏 名	学 校 名	備 考
1	山崎 和洋	県立盲学校	高等部専攻科 2年
2	田中 雄喜	県立聾学校	高等部 3年
3	渡辺真由美	県立会津養護学校	高等部 2年
4	渡邊 晃志	県立平養護学校	高等部 3年
5	本田かおり	県立光南高等学校	3年
6	蘆野 晃子	県立磐城女子高等学校	2年
7	鈴木美起子	県立郡山養護学校	P T A 会 員
引率	斎藤 毅	県立川口高等学校	教 諭
引率	生 陽子	県立石川養護学校	県立石川養護学校
引率	高屋 隆男	養護教育課	指導主事

イ 派遣国 アメリカ合衆国

ウ 派遣機関 平成10年9月8日～18日(11日間)

エ 研修内容

- 自立生活運動発祥の地であり、ADA(Americans with Disabilities Act: 障害をもつアメリカ人法)成立のきっかけとなったバークレー市を中心として、主に次の研修を行った。
 - バークレー市自立生活センターでの研修(市センターの現状と課題、運営状況、自立生活プログラムの体験等)
 - カリフォルニア大学バークレー校での研修(自立生活運動発祥地の学内センターの現状と課題。学生用支援プログラムの体験等)
 - ホームステイによる研修(アメリカ一般家庭にお